



めざせ! 南十字星

笑顔があふれ、しあわせを感じられる学校

学校 便り
令和5年 11月号
ヨハネスブルグ日本人学校

令和5年度学習発表会を盛会のうちに終了しました！学習発表会のよさとは？



去る11月4日に、学習発表会を行いました。多くの保護者の皆様、また大変お忙しい中、多くのご来賓の方々にご参会頂きました。

ご来賓の方々からは、いわゆる作品展や学芸会とは異なり、日頃の学習の成果を生かした発表の場となっており、個々の子供たちの個性や得意なことを活かし、学年や学校全体の取組の成果が発揮されていたとお褒めの言葉を頂きました。

かつては、小学校では、学芸会が大きな学校行事として取り組まれてきました。学習発表会と学芸会は似ていますが、いくつかの違いがあります。学芸会は主にエンターテインメントや芸術的なパフォーマンスに焦点を当てており、歌やダンス、劇などが主な発表の要素となります。一方、学習発表会は、教育的な目的が中心で、学習内容や成果の発表があくまで中心となります。授業で学んだ内容やプロジェクトの成果物を教師とともにアイディアを出し合いながら発表し、保護者の方々をはじめとする参観者の方々に物語文の劇化や趣向を凝らしたクイズやプレゼンテーションなど、自分たちで考えながら構成したプログラムで発表を行いました。



また、学習発表会は子供たちの成果を披露し、保護者の皆様と共有する素晴らしい機会です。小規模校である特徴を生かし、保護者やご来賓の皆様にも多くの演目で積極的に参加して頂いたことも、子供たちの学びをより意味深くし、彼ら自身が満足できるまで取り組んできたことへの達成感や自己肯定感、自信をもつことができました。一回りも二回りも成長した子供たちの活躍をたくさんお褒め頂きましたことに心から感謝申し上げます。



最後になりましたが、南ア日本国大使館牛尾滋大使閣下、根本貴司領事殿、日本人会小出洋介会長様、同じく佐藤洋一幹事様にご来校頂き、全ての演目をご鑑賞いただきましたことに、心より御礼申し上げます。



実施後に保護者の皆様から頂きましたご感想（一部抜粋）

○各学年趣向を凝らした内容でとても楽しく拝見させていただきました。クスッと笑ってしまう場面や思わず涙ぐんでしまうような瞬間も多々あり、全体が子どもたちの性格や学年のカラーに合わせて構成されていました。

○最初から最後まで温かな空気感で、日本人学校の先生方が日頃子どもたちに対して一生懸命向き合っており、成長を見守ってくれていることが伝わるととても素敵な時間でした。

○初めて参加させて頂きましたが、大変楽しく見させて頂きました。少人数の学校ならではのアットホームな雰囲気の中、観覧する保護者・来賓の方も含めた全員参加型の発表会であることも、大変良かったと思います。



また、それぞれの発表において、子供たちが自分たちで工夫しながらしっかり準備して発表会に臨んでいることが伝わってきて、この発表会を通じて自信につながり、また大きく成長する機会になるんだろうなと実感しました。

○小学部は、一人ひとりが自信を持って自分の役割を演じたり、披露したりしている姿が印象的でした。中学部は、さすが中学生というようなパワーを歌で表現し、見る人を引き込んでくれました。下級生たちに、とても良い刺激になったと思います。

○どの児童・生徒も人前で堂々と声を出し、発表をする姿から、日頃の学校生活で培ったことが活かされていると感じたとともに、また少人数でたくさんの先生方に見てもらえる日本人学校の良さを改めて感じました。



次号で、各学年の演目を紹介いたします！